

高齢者バス料金助成制度の寿バスカード交付時負担金改定（案）に

寄せられた御意見と旭川市の考え方

○意見募集期間 令和7年10月31日（金）から令和7年12月12日（金）まで

○意見提出数 108件（個人106件 団体2件）

※匿名の御意見、賛否のみの御意見は、回答・公表・計上としておりません。

市案	
・ 寿バスカード交付時負担金の増額改定（現行2,000円）。 ・ 改定の進め方は、令和8年度3,000円 令和9年度4,000円とする。	

意見提出手続きの結果概要		
市案に賛成	4件	増額改定（4,000円）とすることと改定の進め方に賛成 →御意見の要旨と市の考え方P2
増額改定に理解	9件	増額改定に理解を示すものの、 ・ 改定額は3,000円とする御意見：6件 ・ 改定は500円単位で進めるとする御意見：2件 ・ 改定額は現行の1割増とする御意見：1件 →御意見の要旨と市の考え方P3～4
1乗車時100円を重視する御意見	3件	1乗車時100円の負担についてのみ記載している御意見 →御意見の要旨と市の考え方P5
増額改定に反対	90件	反対の主な理由
		・ 経済的負担増と外出機会への影響：42件 →御意見の要旨と市の考え方P5～8
		・ 経済的負担増：26件 →御意見の要旨と市の考え方P8～10
		・ 外出機会への影響：15件 →御意見の要旨と市の考え方P11～12
		・ 外出機会と運転免許証返納への影響：2件 →御意見の要旨と市の考え方P12
		・ その他反対又は慎重さを求める御意見：5件 →御意見の要旨と市の考え方P13～15
その他御提案	2件	→御提案の要旨と市の考え方P15

市案に賛成	
No.	御意見の要旨と市の考え方
1	<p>あくまでも本人が払う金額が100円なら、改定案に賛成します。</p> <p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●今回の改定案では、乗車時の料金は100円で変わりありません。</p>
2	<p>端数がいらないので100円は利用しやすい。2年ごとに値上げ賛成。(来年は3,000円、令和10年は4,000円で)</p>
3	<p>交付時負担金の金額改定に賛同します。市の負担割合の増加は顕著であり、この制度のこれからの安定的な維持のためにも負担金を相応の金額に増加させるべきだと思います。現在の金額から2,000円増加することが、高齢者の生活に重大な影響を及ぼす金額ではないことは明らかです。それよりも、適切な金額改定によるこの制度の恒久的な安定維持こそが、高齢者の生活に必要なことであると思います。</p> <p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●必要な改定等を講じながら、安定的な制度の維持に努めてまいります。</p>
4	<p>寿カードで出かけることが多くなった。人が動くとき必ず経済も動きます。健康的にもなります(精神的にも)。(特に高齢者は)バスが人を動かしてくれます。バスの存続のための値上げは賛成です。</p> <p>提案として定期券のように1年間使用(市内どの路線も有効)のカード発行も利用したい高齢者がいるのでは(小銭の出し入れ不要)。</p> <p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ることを目的としており、70歳以上の高齢者に対して、路線バスを利用する際の負担軽減を内容としていることから、高齢者福祉の増進等のほか、路線バスの利用促進に資する一面もあります。そのため、利用者、バス事業者、市がそれぞれ一定の負担をしながら事業を安定的に継続していきたいと考えております。</p> <p>【御提案等に関する市の考え方】</p> <p>●小銭を出し入れしなくて済むICカードの導入につきましては、新たな設備の導入に多額の費用が必要であり、誰がどのように負担するかという課題の解決を図ることや、令和5年度に実施したアンケートで現金での支払いが便利だとする方が80%強いらっしゃるから、この方法をすぐに実現することは難しいと考えております。</p> <p>今後の課題として、引き続き検討してまいります。</p>

※御意見の要旨は、市案に対する賛否について、その理由等が分かる部分を中心に整理しております。

また、御意見の中には、制度に関する御提案等も記載されている場合(御意見の要旨のうち網掛け部分)があるため、それらについても、市の考え方を記載しております。

増額改定に理解	
No.	御意見の要旨と市の考え方
1	<p>多少の値上げは仕方ありませんが、2倍には納得出来ません。5割増しの3,000円が妥当かなと思います。</p> <p>要望 制度を複数にする（カードを色分けにする）</p> <p>1. 交付時負担金をそのままにして利用料金を値上げする</p> <p>2. 負担金を値上げして利用料金をそのままにする</p> <p>いずれにしろ、免許返納を勧めるなら寿以外にも他の制度を考えて欲しい。</p>
2	<p>昨今の諸物価上昇により、寿バスカード交付時負担金の値上げもやむを得ないことは十分理解できます。しかし、一挙の値上げは寿バスカード交付者数を激減させ、高齢者を家に閉じ込めることになります。そこで改定の進め方を次のとおり、ご一考いただきたいと思います。『令和8年度の緩和措置として、2,500円、令和9年度以降の改定3,000円とする』</p>
3	<p>高齢者、健康維持のために価格を上げないであげてほしい。バス代をあげるにしても500円からにしてあげてほしいです。</p>
4	<p>負担金が4,000円になったら使用する事が出来ない。3,000円でギリギリです。気軽にバス利用が難しくなります。</p>
5	<p>3,000円までなら利用したいと存じますが、利用することが少なくなり（高齢により）4,000円になると利用する機会がなくなることになりそうです。</p>
6	<p>年金だけで自家用車もそろそろ使用できなくなるので、バスに乗る事が多くなるのに高くなるのは困ります。3,000円位ならなんとかかなと思います。</p> <p>収入によって料金を考えてもらえると嬉しいです。</p>
7	<p>「寿バスカード交付時負担金の改定」について、現在の市民の生活苦を考えると何とか撤回してほしいと願うばかりでしたが、市からの説明資料が届き読むうちに一概に反対とばかりはいえないと考えるようになりました。個人ばかりではなく、自治体もバス会社も本当に厳しい“今の日本”を考えてしまいます。</p> <p>そのうえで、私の意見です。</p> <p>①2年計画で2,000円増はやはりきつい。</p> <p>②3年計画として、2年目終了時点で再検討する。（1年目500円、2年目500円か1,000円、再検討し3年目は1,000円か500円とか）</p> <p>その他の提案</p> <p>①かつて旭川で行われていたノーカード等、バス利用者増加のための市民へのアピールを色々行ってバス事業への一助に。旭川として地球温暖化への対応の大切なよびかけにもなります。</p> <p>②どこでも大変厳しい地方自治体への政府の支援強化のはたらきかけを。</p> <p>③富裕層といわれる人たちへの協力要請、応分負担お願いを。</p>
8	<p>今度の高齢者バス料金助成制度寿バスカード交付時負担金の改定につきましては財政にどれほど負担となるのでしょうか？。現在の年金額では物価の高騰、食品、米、水道光熱費等インフラを考えますとどうも追い付きません。せめて1割の値上げUpにとどめていただく様検討して下さい。</p>
9	<p>諸物価高騰の折、3,000円になるのは致し方ないと思うが、倍の4,000円は反対します。</p>

【御意見に関する市の考え方】

●交付時負担金を増額改定することについて

寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ることを目的としておりますが、交付時負担金を導入した平成18年から、金額は据え置いたままであったことから、この間の運賃値上げ等に伴い、利用者、バス事業者、市の三者による負担割合が当時とは変わり、利用者負担の割合が軽くなる一方、市の負担割合が重くなっております。

本市といたしましても、高齢者対象事業として、寿バスカード事業をはじめ、生きがい対策や除雪支援など、様々な事業を実施しているところですが、経費は膨らむ一方となっており、限られた予算の中で事業を安定的に継続していくためには、利用者にも一定程度、御負担いただく必要があるものと考えております。

●改定額の算定（4,000円）について

金額は、1か月当たり1往復分の料金相当額を1年間負担していただくという考え方で定めたところで、現在の運賃平均を用いて同じ考え方で計算すると4,056円となることから、改定額は4,000円としたところです。

進め方については、審議会から、「現行の交付時負担金の額から2倍となるため、改定に当たっては、段階的实施など、激変緩和措置を講じられたい」旨の意見があったことから、「受益と負担の適正化」へ向けた取組指針の規定（受益者負担の急激な上昇を緩和する措置として、改定前の料金の1.5倍を上限とすること）を参考とし、段階的に改定したいと考えております。

【御提案等に関する市の考え方】

No.1：交付時負担金をそのままにして利用料金を値上げするなど制度を複数にすること
利用料金を改定する場合は、利便性の点から、併せてキャッシュレス化を進めることとなりますが、その際、設備等の整備について検討が必要となります。そのため、検討を進めつつ、今回の見直しは、1乗車時100円を継続することといたしました。

No.1：免許返納を勧めるなら寿以外にも他の制度を考えること

寿バスカード事業は、運転免許証の自主返納による高齢者ドライバーの事故防止等にも資するものと考えており、今後も、事業を安定的に継続できるよう取り組んでまいります。
また、御要望につきましては、関係部局と共有させていただきます。

No.6：収入によって料金を設定すること

寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、生きがいづくりに資することを目的としており、経済状況による差を設けることについては、事業目的との整合性など、慎重に検討することが必要であると考えております。

No.7の「ノーカード等バス利用者増加のための市民へのアピール、政府の支援強化の働きかけ」の御提案につきましては、関係部局と共有させていただきます。

1 乗車時 100 円を重視する御意見	
No.	御意見の要旨と市の考え方
1	このたび物価がすべて値上がりしてさすがに困っておるところ、寿バスカードまで値上がりすると聞き誠にショックです。バスの便も不便になったなか利用するバスはおおかたお年寄りがたくさん乗っていて助かっておりました。1回100円を値上げしないでほしいです。
2	今まで100円で街まで行っていました、上がると気軽に出かけられなくなります。
3	寿バスカードの導入は、歳をとってもバスで外に出かけることで刺激を受け、生き生きと生きていけるようにという目的であったと記憶しています。物価が毎月毎月多くの商品が値上がりでとても大変な中で、バス代往復200円を是非続けてください。
	<p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●1乗車時100円について</p> <p>寿バスカード事業は、高齢者の社会参加が促進されることを期待して実施しており、今回の見直しも、外出機会への影響を考慮し、1乗車時の負担は引き続き100円としております。</p>

増額改定に反対（理由：経済的負担増と外出機会への影響）	
No.	御意見の要旨と市の考え方
1	「寿バス」での旭川市の補助は、大変助かっています（病院、買い物、地域の行事、知人宅などへ出やすい）。ですので「寿バスカード」への補助を「現行」の額でお願いします。
2	お年寄りが出掛けるといことは経済面で良くなるのではと思われます。どうぞ現状でお願いしたいです。
3	高齢者は少しの年金で暮らしているので、バス代が値上げになると外出することが少なくなるため、認知症に成る事が多くなるかと思いますので、値上げしないことを願う。
4	少ない年金から値上がりした分を支払ってまで寿カードの手続きをするのは止めようかと思ってしまう。バスに乗る機会がなくなると生活の質も下がってしまいます。値上げは止めて下さい。
5	車を持たない高齢者が多いと思います。手段がないと出かけられません。負担を増やさないで下さい。
6	現在は車を運転できるのですが、あと1～2年で免許更新ができなくなります。市内中心地への買い物や病院通いや知人宅への訪問に、多大な交通費の負担となります。寿バスカード交付時負担の値上げをしないでください。
7	年金生活でバスの利用していますが、1,000円上がるだけでも（家計）を圧迫します。食品など上がっているのに外出もできなくなります。
8	寿バスカードが現在の2,000円から4,000円になるというのは負担が大きすぎます。高齢者の社会参加、経済にも波及します。ぜひ現状を維持してほしいです。
9	寿カード値上がり絶対反対です。低所得の高齢者にとって値上がりは本当に苦しいです。
10	病院へ通院が多く、今の制度が便利。年金額が低く、上がると生活が今以上に大変になる。

11	バスカードの値上げは困ります。年金が安いので。街の病院に通院しているので大変です ので反対です。
12	物価高騰のおりこれ以上の値上げになると暮らしも大変です。出かける機会や健康維持をも 奪うことにつながります。改定は中止して現在の負担金を据え置き、この制度を継続してい ただくことを節に希望するものです。
13	高齢者のバスカードの負担増をやめてもらいたい。今すべての物価が値上げされ生活は切り つめています。日常の買い物・通院でバスを利用は欠かせません。なんとか現状の金額を維 持して下さい。年金生活者にはこたえます。
14	病院に通院しているので、バスでしか行けません。国民年金で生活していますので、値上げ されるのは、ほんとうに困ります。
15	高齢者の大半は「仕事してない」「生活費が少ない」「生活に余裕がない」「体力（の衰え）に 自信がない。ないない生活でも文化にふれる、生活に欠かせない（買物、公共施設の利用、 通院）移動、人との交流のため、車がない人（返納した人とか）はバスに頼るしかないので す。高齢者からこれ以上お金（出費）で苦しめないでください。値上げぜったい反対です。
16	年金生活者が多い高齢者です。バスを利用して買物、病院へ通う事が多くなります。車の運 転も不安で止める人も多くなります。2, 0 0 0 円のまま、現状のままでお願いしたいです。
17	今回の料金値上げしようとしていることに私は絶対に反対です。日常の買物や通院にバスだ けが頼りにしています。年金生活の私には大きな負担となります。
18	物価高の折、バス会社においても燃料、人件費等もかかる中値上げにもと思うが、いま一番 に思う事は生活（年金者）年金が上がる訳でもなく他からの収入もありません。病院に行く 時ばかり利用では人生残念です。回数が少なくなる（負担の増額は残念です）社会参加も年 を増しても出来る事大です。健康増進の為に活躍出来る事を願うばかりです。
19	「バス」は市民にとって大切な移動の手段です。年金生活者にとって「寿バスカード」の値 上げは負担が大きすぎます。旭川市内の多くの地域がバスが来るのが1時間に一回以下です。 寿バスカード負担金の増額ではなく地域公共交通を充実して下さい。
20	寿バスカード交付時負担金の改訂は中止し据え置いて下さい。バスを利用して行かなければ 年金生活ではタクシーにも乗れずバスの乗り継ぎも計算し工夫して通っています。
21	高齢者の外出のためにも値上げは絶対に反対します。社会との交流が減ると認知まっしぐら。 一人暮らしで誰と語ることもない日々が続くと免疫力の低下、認知症かと不安要素でうつに なる。高齢者が生き生きと社会参加出来る様に値上げ反対です。
22	物価高でますます生活が大変になるばかりです。高齢者は特に外出することが積極的に社会 参加につながり、健康にもつながり医療費の削減にもなります。
23	3, 0 0 0 円も4, 0 0 0 円も払ってはバスにも乗れません。
24	バス利用するので値上げしないようお願いします。
25	高齢者はこの物価高騰、年金は上がりずで生活は苦しくなっています。病院に通うにしても バスの利用は欠かせません。交付時負担金が倍にする予定だとの事、再考をお願いします。
26	病院その他、車がないので高いのはこまります。生活にひびきます。
27	負担金が増えるのは家計的にきびしいです。寿バスカードがあるので駅や街に用事がある時 は使っています。年金が少し上がっても税金や保険料が増え、又物価も高くなっていて余裕 感はありません。値上げはしないでください。

28	自動車を手放した高齢者にとって、病院や買い物をする時に使用する寿バス制度は大変有難いと感じております。年金も少なく物価が昨今急激に値上がりしている現状でなんとか生活を身にとって交付時負担金の値上げは外出の機会を減らす事につながり、高齢者の活動の低下にもなりますので反対します。
29	寿バスカードの増額には反対です。高齢者の足となるバスでの買物ができなくなります。
30	市民の足としての公共交通機関の必要性を最優先と考えていただきたい。高齢者は病気の治療のため通院が増えます。寿バスカードは車が使えない高齢者にとって喜ばれています。この物価高が弱者や高齢者を直撃しているわけですが、市の政策として高齢者に負担させない解決策を考えて下さい。
31	寿バスカードが高齢者にとって、100円で乗れていた事は大変助かっております。ただこれ以上値上げとなるとちょっと買物、用事を足すのも控えなければと思う今日このごろです。せめて寿バスカードの負担増を行わないように切にお願いする次第です。
32	寿バスカードを利用してとても助かっています。生活が苦しい中とても困ります。バスに乗って出かけるのを減らそうと思うほどです。値上げはやめてください。
33	もっと外に出なければと高齢者は思っており、只バス代に払うお金も計算してしまいます。バスに乗って見る情景も背中と手に荷物を沢山持ち大変そうです。でもそれも値上げになると止めてしまいます。寿バスカードを使用している年代は教育無償の恩恵は受けていないはずです。改定の制度の廃止をお願いします。
34	今の時世、家族や子どもに頼らないで出来るだけ自身の力で、という方が多いのではないかと思います。厳しい財政のこともあると思いますが、現行の料金設定で継続していただければ助かります。
35	現状維持を望む。 家族が利用させて頂いている。 高齢になると通院等が増える為、バスを利用する(付き添いは通常料金を支払っている)その都度タクシー を利用出来るのは、限られた人だと思う。 財源が無いというのなら、今一度支出を見直しては頂けないか。
36	交通手段がバスしかない高齢者にとっては負担が 大きいので、値上げには反対です
37	女性の年金額が低いので、この物価高とても大変と話し合っています。高齢になるとあちらこちらと病も増えてきて通院や買い物にバス代100円はとても助かります。寿カード2,000円から3,000円～4,000円に上がるとの事、年金が少ないのでとても困ります。
38	主に買い出しや主人の付き添いに乗車しています。毎月のように値上げ値上げの中、寿カードも4千円に値上げするのは悲しくてたまりません。逆に高齢者は外出せず、孤立になるのではないかと案じています。
39	高齢者等の社会参加、健康増進が目的。負担金が増えると利用しなくなる人も増えます。自転車も乗れなくなり1区間、2区間利用している人もいます。市で節約できる事あると思います。物価も高く年金生活者に最初の目的どおり維持してほしいと思います。
40	免許はもっていないので市内どこに行くにもバスを利用します。乗換えを利用すると往復で千円は軽く超える金額になります。ですから70才になったら100円で色んな公民館のサークルにも参加できると楽しみにしていました。しかし、今迄2,000円だったものが2年後には4,000円は高くはないですか。今この時期にどうなのでしょう。
41	生活が大変でこれからの楽しみがなくなります。あげないように頼みます。
42	今後値上げしますと、更に2年後、3年後には再値上げになるのではと案じています。ガソリン税が値下げになるのでなんとか値上げをしないように済むようお願い申し上げます。

	<p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●交付時負担金を増額改定することについて（再掲）</p> <p>寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ることを目的としておりますが、交付時負担金を導入した平成18年から、金額は据え置いたままであったことから、この間の運賃値上げ等に伴い、利用者、バス事業者、市の三者による負担割合が当時とは変わり、利用者負担の割合が軽くなる一方、市の負担割合が重くなっております。</p> <p>本市といたしましても、高齢者対象事業として、寿バスカード事業をはじめ、生きがい対策や除雪支援など、様々な事業を実施しているところですが、経費は膨らむ一方となっており、限られた予算の中で事業を安定的に継続していくためには、利用者にも一定程度、御負担いただく必要があるものと考えております。</p> <p>●外出機会への影響について</p> <p>寿バスカード事業は、高齢者の社会参加が促進されることを期待して実施しており、今回の見直しも、外出機会への影響を考慮し、1乗車時の負担は引き続き100円としております。近年のバス運賃改定により、正規料金と100円との差額が大きくなっていることから、利用すればするほど、利用者にとって経済的なメリットが生じます。</p> <p>【御提案等に関する市の考え方】</p> <p>No.19の「寿バスカード負担金の増額ではなく地域公共交通を充実すること」の御提案につきましては、関係部局と共有させていただきます。</p>
--	---

増額改定に反対（理由：経済的負担増）	
No.	御意見の要旨と市の考え方
1	<p>¥2,000でカードを貰い+片道¥100×2は私にとったら高いです。必要にせまられて利用している人は大変だと思います。値上げどうこういう前に、利用の仕方の統計をとり、考えてもらいたいです。</p>
2	<p>交付時負担金については、今回の改定案により平成22年度の3者負担割合に戻すことになる訳ですが、緩和措置を行うとはいえ、物価高騰の折り果たして利用者の理解が得られるのか疑問を禁じ得ません。利用者に対する理解できる説明を行う事を期待します。</p> <p>また、1/2軽減は現在身体障害者手帳と療育手帳の交付者が対象ですが、今後は精神障害者保健福祉手帳の交付者も対象に加えて頂く様、ご検討の程お願いいたします。</p>
3	<p>今後の寿バスカードを無料化にしたい。</p>
4	<p>高齢者の方の積極的な社会参加の促進や増進を目的をしている「寿バスカード」の負担金改定（引上げ）には反対します。市は、改定の具体的な理由、使途について説明することが必要です。</p>
5	<p>物価高が続いている中、生活が大変である。絶対反対する。</p>
6	<p>寿バスカード値上げには絶対反対です。年金生活者にとって大変な負担になり、生活が成り立たなくなります。</p>
7	<p>寿バスカード値上げに反対します。年金は上がらなく物価も高いので大変です。</p>

8	寿バスカードに反対です。年金が安いので食べるのにやっとなです。
9	寿バスカード値上げには反対します。年金は安い上に物価高で大変です。
10	寿バスカードの値上げは反対する。負担金の値上げは年金生活の高齢者の絶対的負担を増やすため反対。バスの利用促進のため現状の制度を維持すべきと思います。
11	物価高騰の中、寿バスカードの値上げに反対です。値上げせずに、運転免許返納した方など、本当に必要な方に限定してバスカードを発行した方が良いと思います。値上げよりも、対象年齢を上げることも一案だと思います。
12	寿バスカードはただにして下さい。値上げなんてもってのほかです。
13	負担金増は反対！！年金上げてくれますか？節約して食事の質を落として体調くずし、寿バスカードを買って病院へ行ってって何かおかしくありませんか？
14	2,000円から3,000円、そして2027年度には2倍の4,000円にする事を知りびっくりしています。それだけでなく年金ぐらしは大変な中、物価高、消費税10%になってからますます生活が大変になってる高齢者です。寿バスの値上げはどうか中止にしてほしいです。
15	バス料金は毎年上がっていて旭川は高いと言われます。高齢者の寿バスカードが旭川市からの交通補助になります。それが1.5倍、2倍になるのはこの物価高のつづくなか酷いと感じます。
16	物価高でこれ以上の値上がりは何かやめていただきたくお願いいたします。
17	案に反対します。これは改訂ではなく改悪です。十分でない年金額、物価はどんどん上がっても年金額は定期的に下がってゆく制度。単純に減らす、上げるのではなく市民の足としてのバス路線充実に向け運転手さんの確保等、市が対策を考えてほしい。
18	何でも値上がりしている中で、寿バスカードまで値上がりしないでほしい。
19	物価の値上がりが生活に重くのしかかる今、高齢者バス料金助成及び寿バスカード負担金は値上げしない様に願います。
20	国の政策として運転免許の高齢者への返納が有る中、各種物価の値上がりで生活が非常に大変な方々が居ます。せめて旭川市のバスカード、料金だけは値上げしないでほしいです。
21	私の居住している場所からバスで街の中心地に移動すると800円以上（往復）かかります。その時に高齢者料金助成があると本当に助かります。これが3,000円、4,000円と値上がりすると、この値上げの現在の中では食べることが優先されイベントや楽しみは後回しにされます。気持ちの自由度が全く違います。どうか負担金の値上げをしないで下さい。
22	寿バス値上げ反対です。来年から利用予定なので、年金で暮らしてるので絶対反対です。
23	最近の急激な物価上昇の中、交付時の二千元が三千元、いずれ四千元への値上げは年金生活者には負担が大変大きいのです。来年度も二千元のまま据え置きになることを希望します。
24	年金生活で大変です。値上げにならぬようにお願いします。
25	年金暮らしです。値上げに成らない様にお願いします。
26	日々値上げ、値上げの毎日です。年金はあがらずに生活は大変です。あがらないよう切望します。

【御意見に関する市の考え方】

●交付時負担金を増額改定することについて（再掲）

寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ることを目的としておりますが、交付時負担金を導入した平成18年から、金額は据え置いたままであったことから、この間の運賃値上げ等に伴い、利用者、バス事業者、市の三者による負担割合が当時とは変わり、利用者負担の割合が軽くなる一方、市の負担割合が重くなっております。

本市といたしましても、高齢者対象事業として、寿バスカード事業をはじめ、生きがい対策や除雪支援など、様々な事業を実施しているところですが、経費は膨らむ一方となっており、限られた予算の中で事業を安定的に継続していくためには、利用者にも一定程度、御負担いただく必要があるものと考えております。

【御提案等に関する市の考え方】

No.1：値上げどうこういう前に利用の統計をとり考えること

寿バスカード事業の利用状況等を把握するため、令和5年6月から7月にかけて、利用者3,000人を対象にアンケート調査を実施しております。利用頻度や目的のほか、制度の継続についても質問し、9割を超える方が継続を希望しておりました。

その後、アンケート調査の内容のほか、制度創設時から現在に至るまでの社会情勢の変化等も踏まえ、令和7年4月に「現状と課題及び当面の進め方」を整理し、審議会における調査審議を経まして、市民意見提出手続の実施に至っております。

これらの経過及び関連資料は、市ホームページ（福祉保険課・審議会等）で御覧いただけます。

No.2の「精神障害者保健福祉手帳の交付者も対象に加えること」につきましては、関係部局と共有させていただきます。

No.4：改定による財源の使途について説明すること

交付時負担金は、利用者がお支払いいただく1乗車時100円と本来のバス運賃との差額の支払いや寿バスカード作成費等、寿バスカード事業の費用の一部として使用しています。

No.11：値上げせずに、運転免許返納した方など、本当に必要な方に限定してバスカードを発行すること

寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ることを目的としており、運転免許証の有無に関わらず必要とされる方に交付をしております。

No.11：値上げよりも、対象年齢を上げること

対象年齢を引き上げることも検討した経過がありますが、健康維持の観点からはより低い年齢から利用できるようにすべきとの考えから、今回の改定では引き上げないことといたしました。

No.17の「バス路線充実に向けた対策」につきましては、関係部局と共有させていただきます。

増額改定に反対（理由：外出機会への影響）

No.	御意見の要旨と市の考え方
1	交付時負担が3千円になると今までカードを申し込んだ人がカードの申込みをやめてしまうのではありませんか。高齢者が1人で生活しているよりも人と会う事で健康にメリットがあります。高齢者がバスに乗ることでバス会社にもメリットがあります。交付時の負担を今まで通り2千円をお願いします。負担額の引き上げには反対します。負担金の値上げ以上に高齢者が引きこもり医療費・介護費がかかると思います。
2	値上げに反対です。出かける事で健康寿命にもよくなります。現在の金額を継続して下さい。
3	寿バスカードを利用して車がないのでとても助かっています。値上げされるときびしいです。値上げに反対します。
4	寿バスの値上げに反対します。値上げすれば買う人が少なくなるし、バスを利用する人も少なくなると思います。今（100円）で乗れるのは本当に助かっています。車がなくなると絶対バスが必要になります。
5	寿バスカードの利用負担金改定に反対です。何故改定が必要なのでしょう？高齢者にとってはバス路線は重要です。2,000円でどこでも100円で利用できると恩恵を感じているという声を多くきいています。2,000円以上になると利用のメリットがなくなるのではないのでしょうか？
6	初めに「今、これをやるんですか？」と言いたいです。年金が急に2,000円上がることはありません。高齢者の足をうばわないで下さい。値上げには反対です。
7	免許返納してもなにかなるとの思いがあり、交通問題でバスの減便が全市で行われとても不安になっていたところに寿カードの値上げ。バス減便についても市民住民の声を行政がしっかりと受けとめ、安心安全の旭川に住んでいて良かったと言える市政を望みます。寿バスカード負担は絶対反対です。
8	値上げはどうか考え直して下さい。外出もままなりません。
9	値上げになると外出せず自宅にこもる人が多くなると思います。値上げしないで下さい。
10	料金が上がる事で外出をひかえざるをえない人が多くなると思います。気ばらしに出掛ける事が難しくなると思います。どうぞ料金をすえおいて下さい。
11	寿バスカードの値上げには反対です。年に2度あるバス代が無料の「バスの日」はバスが満員になります。その日は子供を連れだご夫婦などで込み合います。値上げが当たり前ではなく、値上げしないものがあるのもいいのではと思います。寿バスカードの値上げは踏みとどまっていただきますようお願いいたします。
12	寿バスカードがあるので病院へ行けるのです。この先医療費も上がり、寿バスカードも上がったら具合が悪くても我慢する事になります。私たち高齢者から足をうばわないで下さい。
13	バスの交付時の負担金が3,000円～4,000円にもなったら街迄行けなくなります。高齢者の楽しみは生きがいです。高齢者の楽しみを奪う様な値上げは止めて下さい。
14	外出の機会が失われないように値上げには反対です。
15	寿バスカードの交付時負担金増額には反対です。市の財政が大変だからといってお年寄りいじめはやめて下さい。それだけでなくバスの便が減り不便になった上に、寿バスカードの負担金が増えればますますお年寄りは外に出られなくなります。

	<p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●外出機会への影響について（再掲）</p> <p>寿バスカード事業は、高齢者の社会参加が促進されることを期待して実施しており、今回の見直しも、外出機会への影響を考慮し、1乗車時の負担は引き続き100円としております。近年のバス運賃改定により、正規料金と100円との差額が大きくなっていることから、利用すればするほど、利用者にとって経済的なメリットが生じます。</p> <p>●外出機会と健康について</p> <p>高齢者の積極的な社会参加が健康の維持増進につながり、医療費・介護費の低減に寄与しているものと考えますので、寿バスカード事業を安定的に継続していくことが何よりも重要であると考えております。</p>
--	---

増額改定に反対（理由：外出機会と運転免許証返納への影響）	
No.	御意見の要旨と市の考え方
1	交通事故増している中で自動車ではなくバスに乗れる様にしている。寿バスの値上げに反対です。
2	寿バスカード値上げは反対です。毎月必ず医大に通院しなければならず、寿バスカードを利用します。今は運転免許を持っていますが、そろそろ免許返納も考えていますが、寿バスカードの値上げは返納の気持ちが揺らぎます。
	<p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●外出機会への影響について（再掲）</p> <p>寿バスカード事業は、高齢者の社会参加が促進されることを期待して実施しており、今回の見直しも、外出機会への影響を考慮し、1乗車時の負担は引き続き100円としております。近年のバス運賃改定により、正規料金と100円との差額が大きくなっていることから、利用すればするほど、利用者にとって経済的なメリットが生じます。</p> <p>●運転免許証返納への影響について</p> <p>寿バスカード事業は、運転免許証の自主返納による高齢者ドライバーの事故防止等にも資することから、安定的に継続していくことが何よりも重要であると考えております。今後、御意見の趣旨を踏まえ、さらに効果が期待できる取組について、関係部局と連携して検討してまいります。</p>

その他反対又は慎重さを求める御意見

No.	御意見の要旨と市の考え方
1	<p>寿カードでの利用者は運送収入の凡そ20%の割合を有する重要な利用層であります。</p>
2	<p>寿カードの交付率は、平成7年度の84.5%をピークに年々減少に転じ直近（令和5年度）では26.5%まで落ち込んでおり、このような状況にある中での交付時負担金の引き上げは、更なる交付者数の減少を招くことに繋がるのが明白であり、高齢者のバス利用に大きな影響が及ぶものと推測致します。</p> <p>旭川市が主張されております、利用料総額に対する負担割合の増加につきましては、交付者数が増加また横ばいに推移し、傾向として事業費全体の増加が推測される状況なのであれば、受益者負担を求めることも吝かではないと思いますが、比較対象とされている平成22年度からは、2,700人近く交付者数が減少に転じており、事業費自体も年々低下している中で早急に負担金の改定を行う必要があるのか？疑問を感じざるを得ません。</p> <p>交付時負担金の引き上げは、高齢者の積極的な社会参加と健康増進の阻害、さらには旭川市全体の経済効果を後退させることに繋がりがかねない、マイナス効果を生じさせる危険性も感じられ、バス事業者としましては今改定案について反対の意見です。</p> <p>また、旭川市の高齢者バス料金助成制度は、利用者、事業者、市の3者による扶助のもとに成り立っておりますが、他自治体においては、バス事業者の負担を要する施策は見受けられません。少子高齢化が進む中、路線バスの利用者数は年々減少の一途を辿っており、加えて我々バス事業者にはコロナ禍で生じた赤字も重く押し掛かっており、身を削る自助努力の中で日々のバス運行を続けております。</p> <p>さらに、乗務員不足と平均年齢の高齢化には歯止めがかからず、労働時間の規制強化により状況の悪化は進んでおります。この先も安定的なバス運行を続けていく為には、乗務員の処遇改善が必須であり、その為にはバス事業者と致しましても収益構造を見直す必要があることから、高齢者バス料金助成制度の事業者負担分（9.1%）の撤廃についても議論させて頂きたいところであります。</p> <p>旭川市のバス路線を永続的に維持して行く観点からも、高齢者バス料金助成制度につきましては、現行どおりの枠組みでの継続をお願い致します。（他に同様の意見1件）</p> <p>【御意見に関する市の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●利用頻度等によっては、寿バスカードの申請を行わない方もいらっしゃるものと思われませんが、それらの方が全くバスに乗らなくなるとは言えないと考えております。 ●事業費につきましては、平成22年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が生じた期間を除き、2億3千万円から2億4千万円程度で推移しておりましたが、運賃の値上げが行われた令和6年度は2億6千万円弱と大きな伸びを示し、令和7年度も令和6年度を若干下回る程度で推移しているところです。 ●本市といたしましても、高齢者の社会参加促進という目的があることは十分に踏まえながら、今後も事業を安定的に継続したいと考えているところで、利用者にも一定程度の御負担をいただく必要があるものと考えております。 ●なお、バス事業者の事業運営に関する御意見につきましては、関係部局と共有させていただきます。また、事業者負担分の御意見につきましては今回の意見聴取の内容とは異なっており、ここでの回答は致しかねますが、別途協議の必要があるものと考えております。

3	<p>本制度は、高齢者の利便性だけでなく、地域社会の安全、福祉、交通インフラ維持という多角的な側面からその意義が評価されるべきです。単純な歳出削減の対象として、利用者負担を増やすことは、これらの公益を損なう結果を招きかねません。</p> <p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ることを目的としており、70歳以上の高齢者に対して、路線バスを利用する際の負担軽減を内容としていることから、高齢者福祉の増進等のほか、路線バスの利用促進に資する一面もあるものと認識しております。そのため、利用者、バス事業者、市がそれぞれ一定の負担をしながら事業を安定的に継続していくことが重要であると考えております。</p>
4	<p>寿バスカードの交付時負担金の値上げに反対です。理由は値上げの根拠がよくわからないこと。今の2,000円でも購入をためらって外出を控える人がいること。バス路線が廃止になり寿バスカードを利用できない人もある一方、沿線に住む人は利便性が高い。私が利用する路線は日中、高齢者で満員に近い。市内のどこに住んでいても同じ程度の交通費助成がうけられるように工夫できないものでしょうか。</p>
5	<p>近年の物価高騰から負担が増加傾向にある故なのは理解出来るが、果たして本当に予算が無いだけなのか。何故金額を上げるのか、予算内で収めることが出来ないのかを内訳を提示しながら説明してもらわなければ、納得は到底出来るものではない。そもそも市民のための制度を市が多く負担することは当たり前のことでは無いだろうか。市民がなぜこの寿バスカードを求めているのか、魅力は何なのかきちんと分析した上で改めて提示して欲しい。</p>
	<p>【御意見に関する市の考え方】</p> <p>●交付時負担金を増額改定することについて（再掲）</p> <p>寿バスカード事業は、高齢者の社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ることを目的としておりますが、交付時負担金を導入した平成18年から、金額は据え置いたままであったことから、この間の運賃値上げ等に伴い、利用者、バス事業者、市の三者による負担割合が当時とは変わり、利用者負担の割合が軽くなる一方、市の負担割合が重くなっております。</p> <p>本市といたしましても、高齢者対象事業として、寿バスカード事業をはじめ、生きがい対策や除雪支援など、様々な事業を実施しているところですが、経費は膨らむ一方となっており、限られた予算の中で事業を安定的に継続していくためには、利用者にも一定程度、御負担いただく必要があるものと考えております。</p> <p>●市民のための制度を市が多く負担することについて</p> <p>市民の負担については、施設使用料を例にとると、「受益と負担の適正化」へ向けた取組指針を定めており、広く市民に及ぶ義務的なサービスは受益者負担0%、便益が特定されるサービスは受益者負担100%など、サービスが及ぶ範囲や行政関与の度合いを考慮して負担割合を設定しております。必ずしも市が多く負担するものではありません。</p> <p>●寿バスカード事業の分析を行うことについて（再掲）</p> <p>寿バスカード事業の利用状況等を把握するため、令和5年6月から7月にかけて、利用者3,000人を対象にアンケート調査を実施しております。利用頻度や目的のほか、制度の継続についても質問し、9割を超える方が継続を希望しておりました。</p> <p>その後、アンケート調査の内容のほか、制度創設時から現在に至るまでの社会情勢の変化等も踏まえ、令和7年4月に「現状と課題及び当面の進め方」を整理し、審議会における調査審議を経まして、市民意見提出手続の実施に至っております。</p> <p>これらの関連資料は、市ホームページ（福祉保険課・審議会等）で御覧いただけます。</p>

	<p>【御提案等に関する市の考え方】</p> <p>No.4：市内のどこに住んでいても同じ程度の交通費助成が受けられるようにすること</p> <p>現在、本市では居住地に関わらず100円で利用できる制度として運用しており、同程度の助成額という視点で運用する場合は、制度の大幅な見直しの他、利便性の点から、キャッシュレス化の導入に向けた検討が必要となります。それらについても引き続き検討しつつ、当面、現行制度の考え方で運用していきたいと考えております。</p>
--	---

その他御提案	
No.	御意見の要旨と市の考え方
1	<p>今後のバスカードは、鷹栖、東川、東神楽、当麻、比布、美瑛全域拡大する。</p> <p>【御提案等に関する市の考え方】</p> <p>●寿バスカードは旭川市が実施する事業のため、原則、旭川市内での利用としております。</p>
2	<p>自転車を半年ほど利用の者です。こういう方が旭川では多いと思います。雪の間はバス利用で病院・レジャーへと。そこで、二部制にしバス券の料金を考えていただけませんか。</p> <p>【御提案等に関する市の考え方】</p> <p>●寿バスカード事業の利用状況等を把握するため、令和5年度に、利用者3,000人を対象にアンケート調査を実施しており、その中で、利用を冬期間だけとして交付時負担金の額を下げることにについても質問しております。</p> <p>夏と冬でバス利用回数に大きな違いがあるとする意見が約30%ある一方で、半年間利用できるカードがあれば利用したいとの回答は約8%と、その需要は非常に低い結果となりました。複数の種類のカードを発行すると、費用の増加や管理が煩雑になる等の問題も生じることから、需要が非常に低い中での導入は困難と考えます。</p> <p>なお、寿バスカードの交付時負担金は、残りの有効期間に応じて減額する仕組みとなっておりますので、例えば、11月から使用できれば良いということでしたら、11月に申請手続きをすることにより1,200円（改定前の料金）の負担で済ませることができます。</p>